

全農機商報

昭和38年8月20日第三種郵便物認可

第
751
号

主な記事

- ・農業従事員給与「上昇」傾向 2面
- ・高温耐性品種42府県が導入 3面
- ・夏に関する意識調査2025 4面
- ・水稲カメムシ被害33億円 8面

外国人労働者の給与と労働時間

	月間平均 給与額	月間平均 労働時間
管理的職業従事者	538.9	153.9
専門的・技術的職業従事者	369.5	146.6
輸送・機械運転従事者	317.6	156.1
事務従事者	309.1	149.7
建設・採掘従事者	239.3	160.7
生産工程従事者	233.8	153.8
サービス職業従事者	221.8	148.4
農林漁業従事者	207.4	159.6
運搬・清掃・包装等従事者	184.6	126.9
販売従事者	169.2	114.0
保安職業従事者	*	*
全産業平均	253.5	147.8

(出所：厚生労働省)

2024年外国人雇用実態調査

農林漁業で働く外国人の労働条件が、全産業と比べて低賃金・長時間労働であることが厚生労働省の「2024年外国人雇用実態調査」で明らかとなった。日本人の働き手が不足する中、農業従事者数も減少の一途を辿っており、外国人労働者獲得には雇用環境の改善が急務となる。

農林漁業の低賃金・長時間労働が明らかに 雇用環境の改善急務

▽全産業平均比で月額給与は▲4万6千円・労働時間は12時間
同調査は、外国人労働者を雇用する事業所における外国人労働者の雇用形態、賃金等の雇用管理の状況及び当該事業所の外国人労働者の状況、入職経路、生活状況等について実態等を産業別、在留資

格別等に明らかにすることを目的とした調査。雇用保険被保険者5人以上で外国人労働者を1人以上雇用している事業所を対象に2023年から実施しており、今回は2回目となる。

24年度の全産業の外国人労働者数は前年比22万人増の182万人。20万7400円、11区

で、農林漁業は3万3972人。このうち、特定技能と技能実習が2万8725人で8割以上を占める。

これらを対象に雇用実態等を調査したところ、残業代を含む月額給与額は全産業平均の25万3500円に

対し、農林漁業従事者は3番目に多く、他産業に比べて、低い給与でより長く働かせている状況が浮き彫りとなった。

また、農林漁業従事者は賃金が11区分中で最も安い。月間超過実労働時間は11区分中3番目に多く、他産業に比べて、低い給与でより長く働かせている状況が浮き彫りとなった。

▽低賃金・長時間労働は日本人被雇用者対象の調査でも明らかに労働環境について、農林水産省が昨年の1月から2月にかけて、農業経営体と被雇用者を対象に実施した「農業労働環境の改善に関する意見・意向調

査」でも同様の結果が出ている。労働環境で改善が必要だと思う点について、「賃金の上昇」との回答が1位、「労働時間の短縮」との回答が3位だった。

農業分野は高齢化も手伝って、今後、より人手不足が深刻となり、外国人労働者が必要不可欠になる。全産業で人手不足が進む中、農業分野では雇用環境の改善が早急に求められる。

◆基幹的農業従事者数は2050年に30万人に◆
ふだん仕事として主に自営農業に従事している基幹的農業従事者数は、24年が111万4000人で、19年の175万7000人から5年間で64万3000人減少した。

さらに、JA全中は農林業センサスを元に推計した今後の基幹的農業従事者数について、2020年の136万人が30年に83万人、50年に36万人となり、30年間で100万人減(▲73%)となる見通しを示している。

政府は昨年5年ぶりに刷新した食料・農業・農村基本計画で「農業就業者数」を2030年に140万人、うち49歳以下で37万人を目

標としているが、現状、実態とはかけ離れた状況となっている。



YANMAR

効率も、精度も、 自動作業の頂へ。

高精度と使いやすさで好評を得ている
ヤンマーのロボットトラクター/オートトラクターが
お客様の声にお応えしてさらに進化。
人にやさしく、作業は正確に。
省人化・高効率・高精度によって生産性を向上。
未来へ続く、強い農業へ。自動作業で切り拓きます。

SMARTPILOT 省人化 高効率 高精度

YTR 488R/498R/4104R/5114R
ロボットトラクター/オートトラクター

TOUGH & SMART



プロモーション動画 製品情報 Facebook 実演会

ヤンマーアグリ株式会社 www.yanmar.com

従業員給与「上昇」が6割超
今後1年も上昇見通し

担い手農業者の雇用や労働力の状況調査

日本政策金融公庫が融資先の担い手農業者を対象に今年７月に行つた雇用や労働力の状況調査によると、直近１年間で従業員１人当たりの給与が「上昇している」と回答した割合が６割を超えたことがわかった。今後１年の見通しについても上昇するとの回答が６割を超えており、賃上げの機運が農業にも広まっている。

◆直近1年の給与「上昇している」稲作が大幅増

昨年7月調査から6・8ポイント増加した。業種別では稲作（都府

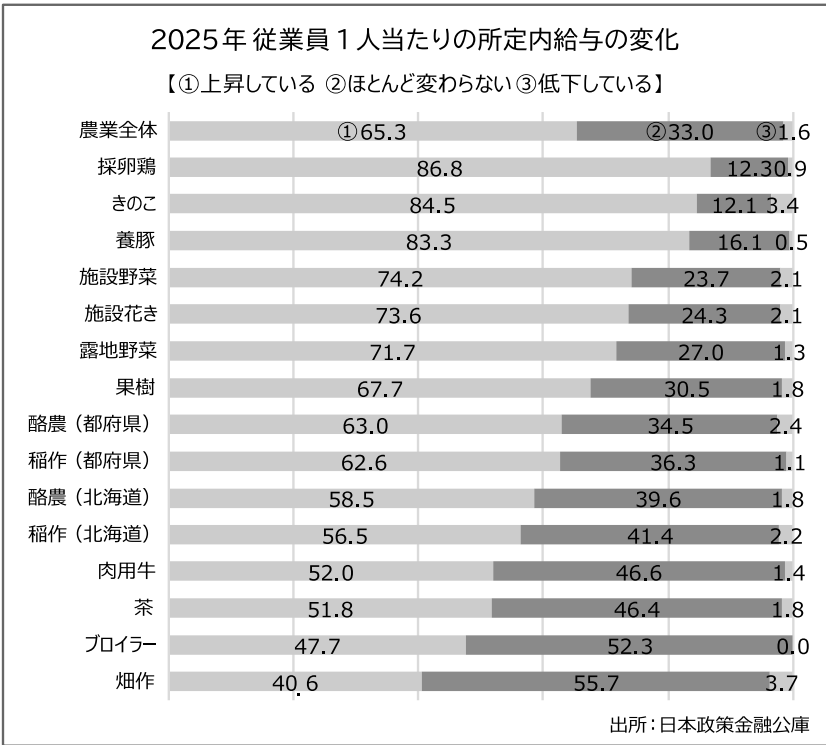
海道）、茶が農業全体の平均より増加幅が大きかった。

従業員1人当たりの所定内給与については、直近1年で「上昇している」と回答した割合が65・3%あり、県が前年比14・5ポイント増、北海道が同19・4ポイント増）が大きく増加。この他、きのこ、養豚、酪農、北

また、今後1年の昇通しについては、「上昇する」が農業全体で61・9%だった。

◇常時従業員数
 ▼稲作・畑作・茶・果樹は「5人未満」が7割
 農業に常時従事している人数は、業種によって対照的になっている。稲作、畑作、茶、果樹は他の業種に比べて「1人未満」で推移。直近1年の従業員数の変化については、農業全体では「増加している」が14・4％で「減少している」が9・3％だった。昨年7月調査と比較すると、「増加している」「変わらない」

て少なく、「5人未満」の割合が7割を超えた一方、きのこ、養豚、採卵鶏は「5人以上」（5～9人、10～19人）に減少している」それぞれの回答割合は、ほぼ横ばいで推移した。ただ、養豚・酪農（都府県）・施設花きは「減



て取り組んでいることについては、農業全体では「基本給や賞与の引き上げ」が66・7%で最も高く、次いで「機械化等による労働負担軽減」56・3%、「労働・休憩時間の適切な管理」44・7%となった。業種別にみると、常時従事者数規模が小さい稲作や畑作では「機械化等による労働負担軽減」が約7割（農業全体56・3%）で最も高い一方、「基本給や賞与の引き上げ」は全体的に下回った。

◆中小企業の賃上げ実
施率は7割／20人以下
の企業は6割◆

商工会議所が今年の
4月～5月にかけて全
国3042社の中小企
業を対象に行った調査

2025年8月に発生した 農作業死傷事故は48件 《農水省》	8月は22件の死亡事故を含む48件の死傷事故が報告された。このうち、スピードブレーキなどの動力防除機による事故が5件（うち死亡事故4件）発生した。スピードブレーキでは「転倒・転落事故」や「木や枝との挟まれ事故」が多く発生しており、死亡に至る事故も多い。スピードの出し過ぎや急ブレーキ、急旋回、路肩の位置に注意しましょう。また、作業前に走行路に枝やワイヤ等の障害物がないか確認しましょう。 ▽11月のワンポイント 9月から10月は毎年、収穫機等の回転部に手や腕が巻き込まれる事故が多いが、11月以降も水田の秋起こし、堆肥の散布、剪定枝の粉碎など、回転する農業機械を使用する作業が続く。機械に作物などが詰まった時
---	--

は、エンジンを止め、
回転部の動きが完全に
停止してから調整や整
備を行いましょう。ま
た、手ぬぐいや袖など
が巻き込まれないよう
に注意しましょう。

卵鶏(34・0)が好調で、全体値を大きく押し上げた。稲作は米価が高騰した24年実績から9・9ポイント上昇した。

稲作・茶・採卵鶏が好調
25年上半期農業景況

日本政策金融公庫は、2025年上半期の農業景況DIを6・6と発表した。前年実績から3・9ポイント下がったが、プラスを維持した。稲作（北海道34・4、都府県33・5）、茶（44・6）、採

▽外国人を常時雇用する業種は限定的

外国人を常時従事者として雇う業種は限定的で、最も多いのは採卵鶏の57・6%。次いで、きのこが49・2%、養豚が45・7%。特にきのここと採卵鶏では「5人以上」との回答が4割近くあった。

一方、稲作・畑作・果樹は「0人」との回答が9割を超え、農業全体でも「0人」との回答が約8割だった。

厚生労働省によると、外国人労働者数は毎年増加しているが、農業分野は全体の2・5%（派遣含む）にとどまっている。

◇改善に向けて取り組みでいることは「給与の引き上げ」と「機械化による労働負担軽減」

直近2～3年で労働条件や環境改善に向けた

商工会議所が今年の4月～5月にかけて全国3042社の中小企業を対象に行った調査では、賃上げを実施（予定含む）する中小企業は全体で69・6%、20人以下の小規模企業で57・7%だった。ただ、業績の改善が見られない中で「防衛的な賃上げ」が、全体でも小規模企業でも6割を超えた。

障害物がなければ確認し
ましよう。

▽玄米入りの「フレコ
ン」落下で死亡事故
10月4日午後、北海
道由仁町にあるJAの
倉庫内で、作業中の男
性従業員がフレコンの
下敷きになり死亡する
作業事故が発生した。
警察によると、倉庫内

枝の粉碎など、回転す
る農業機械を使用する
作業が続く。機械に作
物などが詰まった時
は、エンジンを止め、
回転部の動きが完全に
停止してから調整や整
備を行いましょう。ま
た、手ぬぐいや袖など
が巻き込まれないよう
に注意しましょう。

卵鶏（34・0）が好調
で、全体値を大きく押
ともに19年以來のプラ
ス値となり、養豚も

働きまゐる」。政治家として当たり前だ。それとも、「議員も身体が資本、土日はしっかり休みましよう。私もワークライフバランスを重視し、プライベートも楽しみます」と言ったら、批判している人達ではないが、高市氏にして一方の割合を増やすのではなく、両方を充実させ好循環を生むことを目指す考え方だ。けて、仕事と生活の相反を意味するものではない。

私は特に高市氏推しではないが、高市氏に

未明まで国会答弁書の作成に追われている官僚から睡眠時間を奪うことになる。高市氏はここにメスを入れた。

因みに、当時の総務省は全庁庁の中でリモートワーク導入率NO1。コロナ禍前の話だ。

み込んで消化して、客観的に判断するバランス感覚がこれまで以上に必要になる。

10月21日には新たな総理大臣が決まる。誰になっても、揚げ足取りだけはやめてもらいたい。

稲作・茶・採卵鶏が好調

25年上半期農業景況

日本政策金融公庫 6と発表した。前年実 維持した。稲作（北海
は、2025年上半期 績から3・9ポイント 道34・4、都府県33・
の農業景況DIを6・ 下がったが、プラスを 5）、茶（44・6）、採

が高騰した24年実績からは大きく下がったが、全体では高いプラス値を保ち、茶は同▲3から、採卵鶏は同▲41・2から、それぞれ大きく改善した。この他、酪農は北海道13・5・都府県3・6で、9・9ポイント上昇した。

一方、生産コストDIは▲79・4で、24年実績から5・2ポイント改善したが、大幅なマイナス値を継続。全業種で大幅なマイナス値となった。

高温耐性品種普及進む

作付面積10年で2・5倍に

2024年地球温暖化影響調査レポート

毎年、記録的な猛暑となる中、水稻では高温耐性品種の導入が増えている。2024年は42府県が導入し、作付面積は前年比2・5万増の20・6万畝、主食用米に占める割合は16%となった。異常高温が今後も進むだろう中、農林水産省は種もみを複数年備蓄できる体制づくりに乗り出し、高温耐性品種の普及を進めたい考えだ。

42府県が導入

▽高温耐性品種の主食用米に占める作付面積割合は16%／10年で2・5倍に

23年に続き、24年も出穂期以降の高温による白未熟粒が各地で発生し、特に西日本では5〜6割の地域で影響がみられた。ただ、全

国平均は前年の5割から3〜4割とやや減少しており、高温耐性品種の増加や水管理の徹底で、10年で2・5倍以上に拡大した。

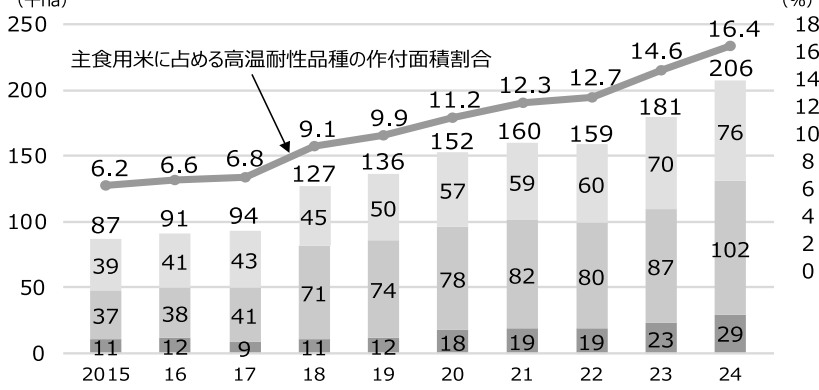
主食用米に占める作付面積割合を都道府県別にみると、佐賀県が56・3%と最も高かった。他、長崎県47・4

2024年産農畜産物への高温障害の影響

		全国	北日本	東日本	西日本
水稻	白未熟粒の発生	3〜4割	1〜2割	3〜4割	5〜6割
	粒の充実不足	1〜2割	1〜2割	2〜3割	1〜2割
野菜	トマト 着花・着果不良	4〜5割	2〜3割	4〜5割	4〜5割
	いちご 花芽分化の遅れ	4〜5割	3〜4割	4〜5割	5〜6割
果樹	りんご 着色不良・着色遅延	4〜5割	6〜7割	—	—
	ぶどう 着色不良・着色遅延	2〜3割	2〜3割	2〜3割	4〜5割
	うんしゅうみかん 日焼け果	3〜4割	—	1〜2割	4〜5割
畜産	乳用牛 乳量・乳成分の低下	1〜2割	1割未満	3〜4割	2〜3割
	乳用牛 繁殖成績の低下	1〜2割	1割未満	2〜3割	1割未満

(出所：農林水産省)

水稻高温耐性品種の作付面積割合及び主食用米に占める割合の推移



(2・4%)、茨城県(6・5%)など、ほぼ導入していない県もあった。

この他、カメムシの被害が深刻度を増している。農研機構によると、斑点米カメムシなどによる米の着色粒の被害額が22年産は22億円、23年産は33億円に上ることがわかった。

また同省は、種もみ農家を確保するため、新たに種もみ生産に乗り出す農家に10万2万円を支給する他、高温耐性品種や多収米品種など新たな品種で種もみ生産に取り組む農家に対して農機の導入費の半額を助成する予算案を26年度予算概算要求に盛り込んだ。

▽農水省 種もみを備蓄できる体制づくりへ 農林水産省は米の増産に向け、種もみを複数年備蓄できる体制づくりに乗り出す。猛暑による高温障害が米の供給不足の一因となっていることから、高温耐性品種の種もみを備蓄できるようにする。備蓄が可能になれば、農家に同品種への生産切り替えを促しやすくなる。

▽果樹・野菜・畜産も多大な被害 水稻以外の農畜産物も昨年同様、高温障害による被害に見舞われている。りんごやぶどう、トマトは着果や着色不良、うんしゅうみかんは日焼け果、いちごは花芽分化の遅れが発生し、畜産では乳用牛で乳量・乳成分の低下、採卵鶏で採卵率と卵重の低下が見られた。

こうした影響への適応策として、着花・着果不良や日焼け果の発生を抑制するために遮光資材や遮熱資材の活用、ミストの活用などが行われ、畜産では牛舎や鶏舎の送風や換気、細切冷房装置の導入などが行われた。

農業の倒産 上半期では過去30年で最多

2025年上半期(4〜9月)の農業の倒産件数(負債額100万円以上)が53件となり、年度上半期では過去30年で最多となったことが東京商工リサーチの調査でわかった。53件の負債総額は前年同期比14%増の131億1200万円。高止まりしている生産資材価格の影響が大き

く、今年も経営体力の乏しい小規模事業者の倒産が多く、全体の半数を占めた。

▽業種別では耕種農業が最多 倒産件数を業種別にみると、米・野菜・果

樹作などの「耕種農業」が最も多く29件。内訳は、野菜作15件、米作6件、花き4件など。

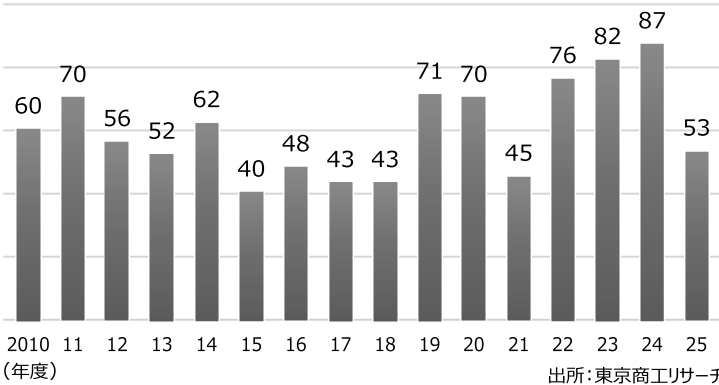
「畜産農業」は21件で過去10年で最多となった。内訳は、酪農が12件、肉用牛5件、養鶏業3件など。畜産農

業は22年度に飼料や燃料費の高騰、伝染病の広がりなどから件数が大幅に増加して大型倒産が相次ぎ、23年度と24年度は反動減からやや落ち着いていたが、再び増加した。

この他、庭木や花壇などの作業を受託する「園芸サービス業」が3件、果樹・穀物・畜産に関する作業を受託する「農業サービス業」は0だった。

▽全業種の倒産件数 上半期は4年連続で増加 2025年度上半期(4〜9月)の全国企業倒産(負債額100万円以上)は、件数が5172件(前年同期比1・5%増)、負債総額は6927億7200万円(同49・6%減)だった。件数は、年度上半期では4年連続で増加し、13年(5505件)以来の水準になった。

農業の倒産 年度推移 (25年度は4-9月実績)



25年産米収穫量748万トン 前年産1割増・9年ぶり高水準

農林水産省は10月10日、2025年産主食用米の収穫量見通し(9月15日現在)を747万7000トンと発表した。24年産実績から約1割(68万5000トン)多く、16年産(749万6000トン)以来、9年ぶりの高水準となる。また、作柄状況は新指標「作況単収指数」を用いて算出し、102とした。収穫量の増加は、米価高騰を

受けた作付面積が増えたこと等が要因で、需給の緩和が価格低下につながるか注目される。

25年産主食用米の作付面積は前年比10・8万畝増の136・7万畝で、10畝当たりの収穫量見通しは前年比5kg増の524kg。また、来年6月末の民間在庫量は、適正水準の180万〜200万トンを大幅に上回る218万〜232万トンになる見込

みとなった。

▽作況指数算出に新指標「作況単収指数」導入 今回から作況指数の算出には、これまでの「作況指数」に代わり、新指標「作況単収指数」が用いられている。「作況単収指数」は、直近の気象の影響等が反映されるよう、直近5年間の米の収穫量のうち、最も多い年と少ない

年を除く3年分の平均と比べた指数でその年の出来具合を表す。これまでの作況指数は1956年から毎年公表されており、当年産の収穫量を過去30年間の傾向を元にした平均収穫量と比較して指数を算出。一定の面積当たりの米の出来具合を示し、その年の米の作柄を示す指標として使われてきた。しかし、生産現場の実感とズレがあるとして同省は廃止の方針を表明。それに対し、統計の専門家から代わりとなる指標を求める声が出ていた。

表1.『夏』だと思ふ時期 ―現在と10年前―

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
現在、 『夏』だと思ふ時期	0.5%	0.3%	0.1%	1.5%	18.2%	70.2%	85.4%	82.9%	71.7%	24.7%	1.6%	0.1%
10年前、 『夏』だと思っていた時期	0.5%	0.3%	0.2%	0.5%	1.7%	15.7%	82.5%	86.6%	27.3%	0.8%	0.1%	-

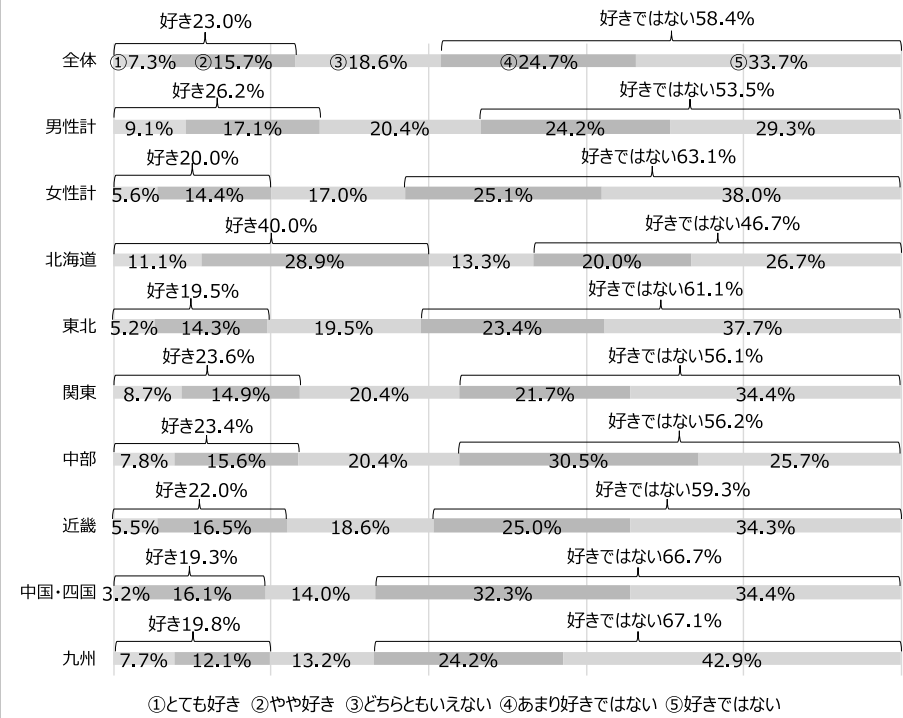
今年はいや、今年の夏も暑かった。年々暑さが厳しさを増す日本。夏。全国各地で気温が40℃を超える地点が相次ぎ、危険な暑さが

夏に関する意識調査2025

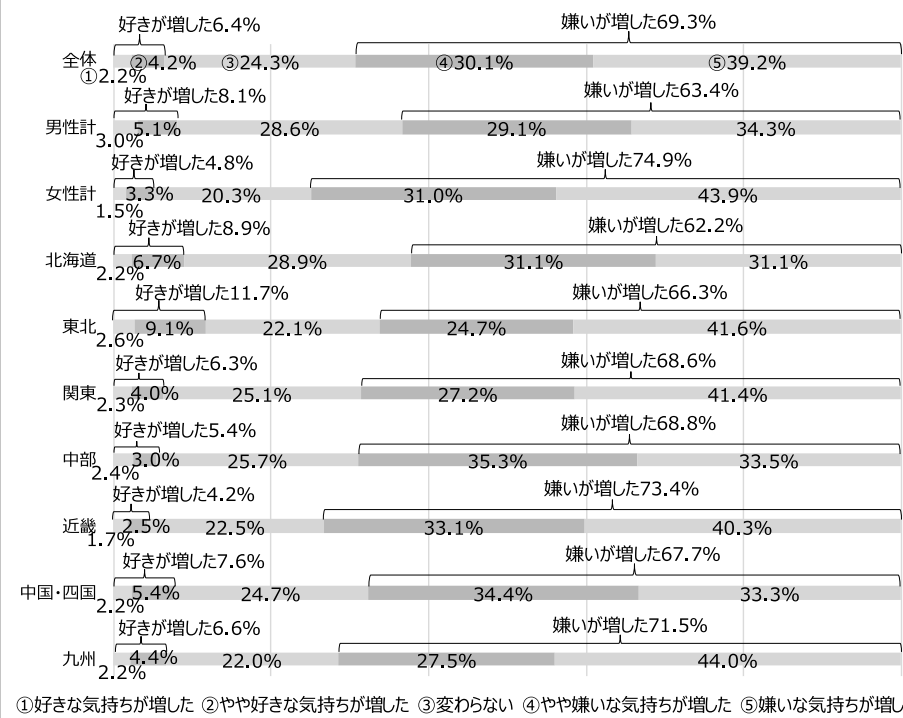
暑すぎた今年の夏

夏の期間「7月と8月」から「6～9月」に
夏が「好きではない」6割・「嫌いな気持ちが増した」7割

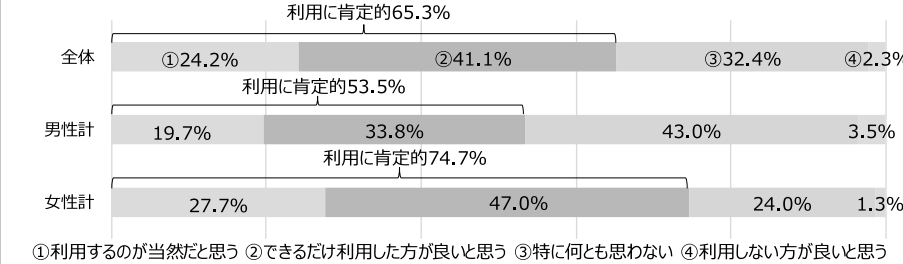
グラフ1. 現在の『夏』の季節に対する好意度



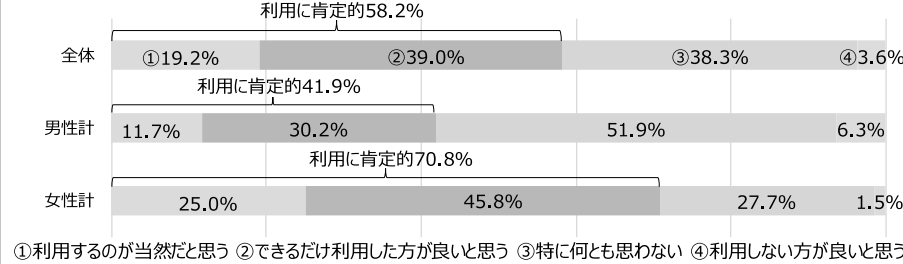
グラフ2. 10年前と比べた『夏』に対する好意度の変化



グラフ3. 男性の「日焼け止め」利用について



グラフ4. 男性の「日傘」利用について



今年はいや、今年の夏も暑かった。年々暑さが厳しさを増す日本。夏。全国各地で気温が40℃を超える地点が相次ぎ、危険な暑さが

今年はいや、今年の夏も暑かった。年々暑さが厳しさを増す日本。夏。全国各地で気温が40℃を超える地点が相次ぎ、危険な暑さが

今年はいや、今年の夏も暑かった。年々暑さが厳しさを増す日本。夏。全国各地で気温が40℃を超える地点が相次ぎ、危険な暑さが

今年はいや、今年の夏も暑かった。年々暑さが厳しさを増す日本。夏。全国各地で気温が40℃を超える地点が相次ぎ、危険な暑さが

今年はいや、今年の夏も暑かった。年々暑さが厳しさを増す日本。夏。全国各地で気温が40℃を超える地点が相次ぎ、危険な暑さが

今年はいや、今年の夏も暑かった。年々暑さが厳しさを増す日本。夏。全国各地で気温が40℃を超える地点が相次ぎ、危険な暑さが

今年はいや、今年の夏も暑かった。年々暑さが厳しさを増す日本。夏。全国各地で気温が40℃を超える地点が相次ぎ、危険な暑さが

今年はいや、今年の夏も暑かった。年々暑さが厳しさを増す日本。夏。全国各地で気温が40℃を超える地点が相次ぎ、危険な暑さが

今年はいや、今年の夏も暑かった。年々暑さが厳しさを増す日本。夏。全国各地で気温が40℃を超える地点が相次ぎ、危険な暑さが

今年はいや、今年の夏も暑かった。年々暑さが厳しさを増す日本。夏。全国各地で気温が40℃を超える地点が相次ぎ、危険な暑さが

今年はいや、今年の夏も暑かった。年々暑さが厳しさを増す日本。夏。全国各地で気温が40℃を超える地点が相次ぎ、危険な暑さが

今年はいや、今年の夏も暑かった。年々暑さが厳しさを増す日本。夏。全国各地で気温が40℃を超える地点が相次ぎ、危険な暑さが

今年はいや、今年の夏も暑かった。年々暑さが厳しさを増す日本。夏。全国各地で気温が40℃を超える地点が相次ぎ、危険な暑さが

今年はいや、今年の夏も暑かった。年々暑さが厳しさを増す日本。夏。全国各地で気温が40℃を超える地点が相次ぎ、危険な暑さが

今年はいや、今年の夏も暑かった。年々暑さが厳しさを増す日本。夏。全国各地で気温が40℃を超える地点が相次ぎ、危険な暑さが

今年はいや、今年の夏も暑かった。年々暑さが厳しさを増す日本。夏。全国各地で気温が40℃を超える地点が相次ぎ、危険な暑さが

今年はいや、今年の夏も暑かった。年々暑さが厳しさを増す日本。夏。全国各地で気温が40℃を超える地点が相次ぎ、危険な暑さが

*

各地11月は展示会シーズン

— 農機ショー・中古農機展・資材展 —

第16回 島根県 中古農業機械 大展示会

年に一度のチャンス!!

開催日 **11月7日(金)** 8:30~14:00

会場 雲南市加茂文化ホール ラメニル駐車場 雲南市加茂町宇治303

当日スケジュール

- 8:30~9:50 抽選開始まで 自由投票
- 10:00 抽選スタート
- 14:00 終了

抽選後〜先着順随時契約となります

農家の皆様へ

点検済み中古農業機械を適正価格で皆様にお届けします。アフターサービスは最寄りのJA及び農機販売店が行いますので安心してご購入ください。

各社合同即売会

出品各社

- JA全農島根県サポート部 各営業所 ●ヤンマーアグリジャパン 各支店
- ㈱ISEKI Japan 中国国カンパニー 各営業所 ●井上農機店 ●新梅林商會
- 前田機工所 ●美奈島農機本店 ●丸井日機店 ●丸井日機店 ●丸井日機店
- 美奈島農機店 ●美奈島 ●石家農機店 ●大友農機店 ●南協和農機店
- 丸井日機店 ●丸井日機 ●丸井日機 ●丸井日機 ●丸井日機 ●丸井日機
- 丸井日機店 ●丸井日機 ●丸井日機 ●丸井日機 ●丸井日機 ●丸井日機
- 丸井日機店 ●丸井日機 ●丸井日機 ●丸井日機 ●丸井日機 ●丸井日機
- 丸井日機店 ●丸井日機 ●丸井日機 ●丸井日機 ●丸井日機 ●丸井日機

農作業安全に心がけましょう…!

主催/全農・島根県農業機械商業協同組合 協賛/島根県中古農業機械査定士協議会

2025 第3回 福島県 農業資材展

当日限りの大特価品勢揃い!!

とき **11/20(木)** 9:00~15:00 雨天決行

ところ **郡山市 西部体育館**

駐車場収容 **400台**

〒963-0201 福島県郡山市大槻町字湊48番地 電話 024-961-4250

主 福島県農業機械商業協同組合 ☎024-553-7892

共 全国農業機械商業協同組合連合会 福島県農業機械公正取引協議会 ㈱ISEKI Japan福島 三菱農機販売 株 株南東北クボタ ヤンマーアグリジャパン 株

協 全国農業機械商業協同組合連合会 福島民報社 福島民友新聞社

※農業機械化ショーは協賛第二会場・松ノ木河川公園で開催

▽11月7日(金) 島根県中古農業機械大展示会(雲南市加茂文化ホール・ラメニル駐車場)

▽11月18日(火) 滋賀商組資材展示会(安土マリエート)

▽11月20日(木) 福島商組資材展示会(郡山市西部体育館)

◇展示会予定

- ▽10月31日(金) 11月4日(火) 秋田県種苗交換会(湯沢市)

短波

◆滋賀商組が11月に資材展示会初開催◆

滋賀県農業機械商業協同組合(吉田行雄理事長・組合員数34社)は11月18日、購買取引企業を集め、組合員向け資材展示会を初めて開催する。出展企業は20数社を予定している。

農機組合主催の資材展示会は、以前から栃木が年3回、福井と京都が年2回、富山・石川・岐阜・和歌山・兵庫が年1回開催している。よって、福島が中古農機フェアのほかに、もうひとつ事業の柱を作りたいとして、一昨年11月に初開催した。資材展示会の立ち上げはそれ以来となる。

食と農と大地のソリューションカンパニー **ISEKI**



FM575

100 ISEKI ANNIVERSARY SINCE 1926

ISEKI 井関農機株式会社

ISEKI FM series

FM468 (4条刈68PS)
FM475 (4条刈74.8PS)
FM575 (5条刈74.8PS)

求めたものは次世代の
居住性 操作性 メンテナンス性



購 買 情 報

ジャスト

ジャスト チップソー
不需要期キャンペーン&送料改定
のお知らせ

25枚(1箱)につき1枚サービス

《開催期間》
2025年11月1日～26年1月31日
出荷分まで



〈送料改定内容〉
・1箱:800円(現行400円)
・2箱以上:元払い(現行通り)
・バラ出し:実費(現行通り)
※適用開始日
11月1日ご注文分より

■対象商品

品名・規格	寸法 (W×L×H mm)	品名・規格	寸法 (W×L×H mm)
エコノミー	9インチ 230×2.0×25.4×36P 10インチ 255×2.0×25.4×40P	でかチップ	9インチ 230×2.2×25.4×32P 10インチ 255×2.2×25.4×36P
軽量	9インチ 230×2.0×25.4×36P 10インチ 255×2.0×25.4×40P	めっちゃかる	9インチ 230×2.2×25.4×32P 10インチ 255×2.2×25.4×36P
軽量お椀型	9インチ 230×2.0×25.4×36P 10インチ 255×2.0×25.4×40P	楽らく	9インチ 230×2.0×25.4×32P 10インチ 255×2.0×25.4×36P
スペシャル 60	9インチ 230×2.0×25.4×60P 10インチ 255×2.0×25.4×60P		

ケイエイチブイ

ケイエイチブイ
除雪機カバーキャンペーン

通常価格の7～8%引き

《開催期間》
2025年11月1日～12月25日
ご注文分まで



◇ 1枚から出荷可能。但し、梱包未満は別途送料1,800円(税抜)
◇ 色はオレンジかブルーを選択(但し、ブルーは受注生産)

■対象商品

品名・規格	寸法(W×L×H単位mm)	梱包枚数
SS型	650×1,450×940	5枚
S型	800×1,600×1,070	5枚
M型	930×1,800×1,410	5枚
L型	1,180×2,500×2,050	3枚

ヤマト自動車

スリムボディで狭所作業に最適

Makita

ハイパワー&高速締付け！

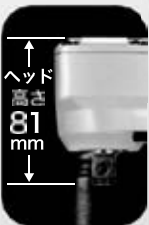
TL300DZ

18V 12.7sq 充電式アングルインパクトレンチ
(バッテリー・充電器別売)

12.7
sq

最大締付け
トルク
300
N・m
(打撃モード・強)

最大締め
トルク
530
N・m



スイッチパネル

LED
ライト
(照度3段階切替)

正逆転
切替レバー

細径グリップ
小指側115 [周長] mm



打撃力切替
強・中・弱の
3段階で切替可能

打撃モード	打撃数 (回/分)
強	4,000
中	2,800
弱	1,800

正転・逆転ともに
オートストップモード付
連続した仮締め作業や、
締め作業時のナット脱落防止に。



ヤマト自動車株式会社

・札幌営業所
・山形営業所
・関東営業所
・町田営業所
・金沢営業所
・大阪営業所
・神戸営業所
・岡山営業所
・松山営業所
・福岡営業所
・熊本営業所
・大分営業所
・鹿児島営業所

購 買 情 報



共通バッテリーで
広がる楽しさ
STIHL AS システム

**大好きな時間
とっておきの道具で揃えよう。キャンペーン**

対象製品を2台購入でいずれか1個、3台購入すれば2個、または両方もらえる。

A コース

AS 2 予備バッテリー

IPX4 対応
10.8 V, 0.22kg



B コース

特製キャリーバッグ

サイズ: 430×260×210mm
(幅×奥行×高さ)



**ASシステムを、どの組み合わせでも2台購入で、
予備バッテリーか特製バッグが必ずもらえる。**

■キャンペーン応募方法

- STEP 1** キャンペーン期間内に、「対象のASシステム製品」を2台以上購入する。
- STEP 2** 下記のキャンペーン応募サイトにアクセスする。
① 購入商品の「シリアルコード」を入力
② 「購入証明(領収書またはレシートの写真)」を添付
- STEP 3** キャンペーン応募受付期限までにフォームを送信する。

キャンペーン応募サイト

blog.stihl.co.jp/as-system

右の二次元バーコードをスマートフォンのカメラで読み取ることで、
キャンペーン応募サイトに簡単にアクセスできます。



キャンペーン対象のSTIHL ASシステム製品

バッテリー
ガーデンカッター
GTA 26



バッテリー
剪定ばさみ
ASA 20



バッテリー
刈払機
FSA 30



バッテリー
ヘッジトリマー
HSA 30



バッテリー
ガーデンバリカン
HSA 26



バッテリー
ハンディ高圧洗浄機
RCA 20



バッテリー
ハンディブロワー
BGA 30



バッテリー
ハンディクリーナー
SEA 20



バッテリー
エアコンプレッサー
KOA 20



■購入対象期間

2025年10月1日※-12月10日※

■応募受付期限

2025年12月17日※ 23:59 まで

■キャンペーンお問い合わせ先

本キャンペーンに関するお問い合わせは、
stihl-campaign@at-vision.jpにて承ります。なお、抽選や当選、商品に関する問い合わせには、一切お答えしかねますので、予めご了承ください。

(株)オリエントコーポレーション×全国農業機械商業協同組合連合会

かなえる、のそばに。



『秋のオリコ提携クレジットキャンペーン』開催中

期間:2025年10月1日~12月31日申込・可決分まで

●申込可決1件につき

2,000円分のUCギフト券進呈

※クレジット申込元金20万以上が対象



※対象商品・・・農業機械(中古も可)・修理・部品・資材代等

①通常分割払い

元金と手数料を毎月決まった金額でお支払い
(元利均等分割払い)

②盆暮払い

収穫時の収入によって支払月と回数を決定(元利均等分割月指定払)

③アグリローン

毎月の支払額を指定でき、返済の途中でスポット返済や金額、回数の変更可能(残債指定払い)

水稲カメムシ被害全国で33億円

鹿・イノシシに次ぐ規模

23年産推計

斑点米カメムシ類などによる米の着色粒の被害額が23年産推計で33億円に達したことがわかった。農研機構が農林水産省の農産物検査結果で、水稲うるち玄米の2等以下の格付け理由である着色粒の割合と、各年の等級や

斑点米被害を引き起こすカメムシ類の総称で、全国で30種以上存在し、地域毎に主要種となつていく種類は異なる。いずれの種も針状の口をイネの穂に差し込んで吸汁加害する。カメムシ類が

斑点米カメムシ

を加害すると、黒色または茶色の斑点ができた玄米、いわゆる「斑点米」が生じる。また、イネカメムシなど一部は、

収穫量、米の価格差から算出した。それによると、全国的な等級低下に見舞われた2023年産の着色粒による

害があれば被害額はさらに増える。23年産の被害額33億円は、鳥獣被害と比べても多い。鳥類27億円、サル7億円、熊7億円を上回り、鹿70億円、イノシシ36億円に次ぐ規模だった。

今年度は各都道府県で斑点米カメムシ類への注意報が、9月5日現在で計35道府県46件発出され、記録が公開されている07年以降で最も被害額を主な鳥獣

▽23年の鳥獣被害額は164億円

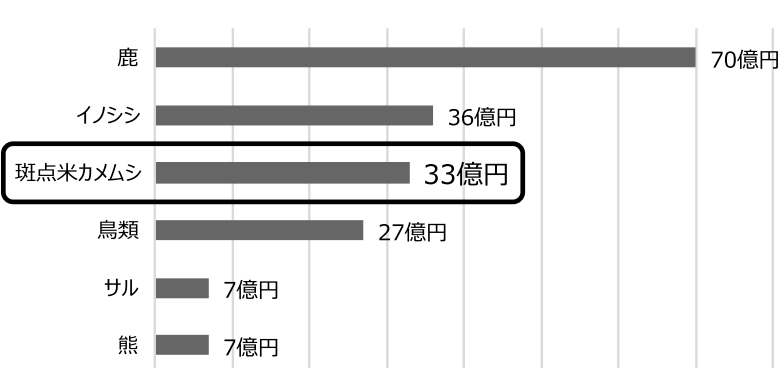
23年度の野生鳥獣による全国の農作物被害は164億円(前年度比8億円増)で、被害の被害金額は2年連続で増加した。

▽今年度は熊の人身被害が最もペース

環境省は10月6日、今年4月から9月末の熊の人身被害が全国20道県で99件108人発生し、過去最悪ペースだと発表した。今の形式で統計を取り始めた2006年度以降で過去最悪だった23年度の同時期の人身被害数(105件109人)とほぼ同じ水準で推移している。最も人身被害が多いのは岩手県の21件で、秋田県18件、長野県10件と続く。

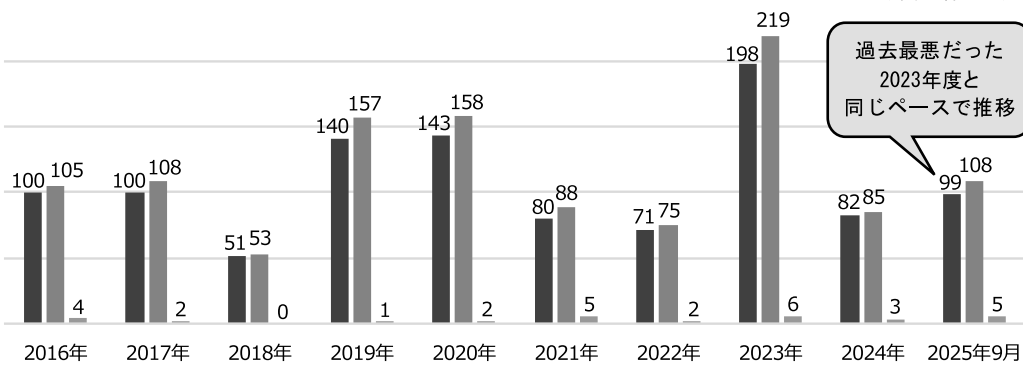
23年度通年の人身被害は198件219人。死亡者は6人だったが、今年10月3日時点ですでに7人亡くなっており、過去最悪を更新している。今年度は餌となるドングリなどが凶作で、熊が人里へ出てくるリスクが高い。例年以上に注意する必要がある。

主な鳥獣と斑点米カメムシによる被害金額(2023年産)



出所: 農研機構・農林水産省

熊による人身被害数の推移



【左: 件数 中央: 被害人数 右: 死亡者数】

(単位: 件・人)

過去最悪だった2023年度と同じペースで推移

(出所: 環境省)

大規模農業の比類なきパートナー。

GENEST PLUS

M100GEP (100PS) M110GEP (110PS) M115GEP (115PS)
M125GEP (125PS) M135GEP (135PS)
M110GEP-PC (110PS) M125GEP-PC (125PS) M135GEP-PC (135PS)



GENEST PLUS
WEBサイト

For Earth, For Life
くろはた

株式会社クボタ